

社会貢献活動『木望の未来プロジェクト』2017年度活動報告 間伐材による小学校学習機の天板を、8年間で11,971枚寄贈 全国10校で計909枚の天板を交換し、11校でふれあい授業を実施

木造注文住宅を手がける株式会社アキュラホーム（本社：東京都新宿区、社長：宮沢俊哉）とグループ会社のオカザキホーム（本社：愛知県岡崎市、社長：井草健二）は、木の家を提供する企業として、子どもたちに木の素晴らしさを伝える「木望（きぼう）の未来プロジェクト」を実施しています。

本活動は2010年より開始し、2017年度までに間伐材（※1）で製作した小学校学習機の天板計11,971枚を寄贈しました。

木望の未来プロジェクトは、次代を担う子どもたちへ「森のすごさ」「木の素晴らしさ」「物づくりの楽しさ」の理解を深めてもらうことを目的に、当社拠点近隣にある小学校を対象に、地域への社会貢献活動として実施しています。間伐材を加工し製作した小学校学習機の天板（以下 天板）を小学校に寄贈し、当社大工が古い天板と交換しておりますが、8回目となる2017年度は計909枚の天板を寄贈しました。多くの小学校で出張授業「ふれあい授業」を行い、講演やカンナがけ体験などを通じて森林の大切さなど自然環境を学び、木材に直接触れることで木の温もりを知る機会としています。



※加古川市陵北小学校 ふれあい授業の様子

間伐材を加工し製作した小学校学習機の天板交換

天板交換前の机



天板交換後の机「木ごころ机」



※生活の様々な場面で“木を大切にしたい”という思いから天板を交換した机は「木ごころ机」と名づけています

出張授業「ふれあい授業」



※カンナで薄く削られた後の木は、鏡のようになり、文字が反射して見えます。反射する文字を見る児童達。

今後も活動を通して地域の豊かな社会形成に貢献するとともに、子どもたちへは木の魅力や地球環境保全についての知識を深めてもらえるよう努めてまいります。

■ 木望の未来プロジェクト 2017年度活動

～10校で計909枚の天板を交換、11校でふれあい授業を実施～

実施地域：埼玉県熊谷市、川越市、春日部市、東京都武蔵野市、千葉県市原市、神奈川県座間市、

静岡県浜松市、愛知県豊田市、大阪府大阪市、兵庫県加古川市、岡山県倉敷市、広島県東広島市

※一部幼稚園でも実施しています。

※1 間伐材：森林の木が成長するため間引き（木々の間隔を広くするため一部の木を伐採）された木材

<本件について報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越・西口・柳内 Email: aqua_pr@aqura.co.jp

住所：東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 34F TEL:03-6302-5010（直通） FAX:03-5909-5570

■ 天板に“間伐材”を採用する理由

日本は国土の67%が森林に覆われ、そのうち4割は人工林です。人工林の役割は木材を採ること以外にも、水源確保、自然災害防止、地球温暖化防止など多岐に亘りますが、昨今人工林の間伐が行われず荒廃が進んでいます。理由としては、間伐材※は細く未成熟材のため主伐材よりも用途が限られることや、安価な輸入木材が多く出回ることによって需要が減少していることが挙げられます。木を扱う当社はこうした状況を踏まえ、間伐材を積極的に採用することによって環境保全の一助となればと考えています。

■ ふれあい授業活動一例 加古川市立陵北小学校ふれあい授業

当社社員が講師となり、「木育ノート」をもとに森林と間伐の必要性や木の良さについて紹介。授業の後は、カンナがけ体験と、木の筆箱を製作。真剣な眼差しで設計図を見ながら筆箱を製作する児童の姿が印象的でした。



ふれあい授業の様子



カンナ掛けの様子



木の筆箱を製作している様子

日時： 2018年3月5日(月) 10:50～12:30

場所： 陵北小学校(兵庫県加古川市)

対象： 6年生 57名

実施内容： 森林の大切さなどを伝える講演
カンナ掛け体験、木の筆箱製作

使用教材： 木育ノート

(出版：財団法人 日本木材総合情報センター)



※木育ノート

その他ふれあい授業活動事例：2015年井戸掘り授業(兵庫県加古川市浜の宮小学校)

■ 木望の未来プロジェクト受賞歴

・グッドデザイン賞

2012年： 「木望の未来プロジェクト」ベスト100に選出

・キッズデザイン賞

2012年： 「井戸掘り大作戦～ガチャポンを現代に」

～子どもの未来デザイン リテラシー部門受賞～

井戸水を通して自然界での水の循環を相関的に考え、豊かな自然環境を未来へと繋いでゆく大切さを啓発。また、実際に使用することで物理的な原理や道具の有用性を学び、子どもたちのイメージーションを刺激。

2011年： 「木望(きぼう)の未来プロジェクト」

～フューチャーアクション部門受賞～

木育を通して「木の素晴らしさ」「物の大切さ」「物づくりの楽しさ」を、次代を担う子どもたちに伝えていくための活動。間伐材を使用した学習用机の天板を小学校に寄贈し交換する。

<アキュラホーム会社概要>

社名 株式会社アキュラホーム

代表取締役社長 宮沢俊哉

所在地 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 34F

電話 03-6302-5001 (代)

創業 1978(昭和53)年10月

資本金 9,314万円

従業員数 1,230名(平成30年4月1日現在)

事業 建築工事・設計施工・販売、住宅総合研究・開発・コンサルティング

ホームページ <http://www.aqura.co.jp>